

水は生命の源です。
人は自然と共に生きてきました。
地球からたくさんのエネルギーをもらいました。
しかし、どれだけ科学が発達しても、自然を支配
できません。海も空もよごれてきました。
地球はみんなで守っていかなくては
なりません。
2050年までには、世界中の
魚の重さより、海の中の
プラスチックごみの方が、
多くなるそうです。
自然や命の大切さについて
考えましょう。
体験したことや、想いを
ぜひ書いて下さい。
みなさんが、これからの日本を、
さらに世界を築いていく主役なのです。



2019年ざぶん大賞のアート作品。
装画は、画家 西のぼる氏。

第19回 ざぶん賞

2020年度 作品募集中。
中のページに文章を書いて応募できます。
(一般の原稿用紙でも応募できます)

【応募要項は裏面をご覧ください】

ざぶん賞2020(第19回) 小中学生の文章募集

●水に関するについて書いてください …募集内容

テーマ／生命の源である、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙。
たとえば、
・海や川、湖などについて、あなたが思ったり、感じたりしていること。
・水や命について、あなたが考えたり、願ったりしていること。
・水に関することで、あなたが経験した楽しかったこと、怖かったこと、など。

参加資格／小・中学生

作品／未発表作品で、1,200字以内に。(原稿用紙2枚以上の場合はステープラーでとめてください。また、ワードなどの電子データでも応募いただけます)

●全員にざぶん大使認定証を発行します。 読みやすいように濃い鉛筆で書いてください。 選ばれた文章はアート作品に。

応募者全員に「ざぶん大使認定証」を発行。
選ばれた文章は各賞になり、画家の西のぼる氏、原田維夫氏、百鬼丸氏、蓬田やすひろ氏、工芸作家の林 香君氏、その他イラストレーターや工芸作家がアート作品に仕上げ、贈呈。

賞／文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞、ざぶん大賞、準大賞、環境賞、文化賞、特別賞など数点(予定)
文章選考委員長／作家 安部龍太郎氏
発表／2020年10月末予定
表彰式／全国表彰式を2020年11月に金沢市で、地区表彰式を翌年1月以降に各地区で開催予定です。

●応募のしかた

応募方法／題名、名前(ふりがな)、学校名、学年、連絡先住所、電話番号、
団体応募の場合は担当者のお名前を必ず明記し、郵送またはメールでお送りください。

●郵送応募 専用応募用紙(ホームページからダウンロード可能)または一般原稿用紙に、濃くはっきりと書いてください。
●メール応募 MSワード形式で1作品1ファイル。
件名に「ざぶん賞応募作品」と記載し、作品ファイルが複数の場合はフォルダにまとめ、メールに添付してください。

締め切り／2020年9月7日(月)消印有効
郵送／〒924-0053 石川県白山市水澄町429番1
ざぶん賞実行委員会事務局まで
電子メール／info@zabun.jpまで

夏休みや授業のテーマで書かれた作品も、学校でまとめていただき、
ご応募ください。一人でも多くの皆さんからの作品をお待ちしています。

その他 ●文章作成や応募の際に発生する諸経費は負担しません。●応募書類は返却しません。●応募書類の不慮の破損や紛失の責任は負いません。●入選者以外への選考結果の告知はいたしません。●入選作品の出版権、および著作権は主催者に属します。●入選作品をアート作品化するにあたりタイトルや文章に変更を加えることがあります。●募集内容や選考要項など一部変更することがあります。
主催／ざぶん賞実行委員会(実行委員長 月尾嘉男) 問合せ先 事務局 電話076-287-6782
後援／文部科学省、国土交通省、環境省、水産庁、海上保安庁、他全国の自治体や関係団体など(昨年度実績)

●ざぶん賞は、生命の源、水を通じて、命や自然の大切さを考えようというプロジェクトです。

<http://www.zabun.jp/>

ざぶん賞事業の主な委員・アーティスト

月尾嘉男
(つきおしお)
ざぶん賞実行委員長
東京大学名誉教授・工学博士

安部龍太郎
(あべりゅうたろう)
選考委員長
作家

西のぼる
(にし のぼる)
画家

林 香君
(はやしかく)
美術家・陶芸作家

原田維夫
(はらだつなお)
版画家

百鬼丸
(ひゃっきまる)
切り絵作家

蓬田やすひろ
(よもぎだやすひろ)
イラストレーター